



臨床研究フェローシップの 特徴

- 1 習得してきた診療技術で地域医療に貢献
- 2 週1回の研究時間を完全に確保
- 3 臨床疫学専門家による指導
- 4 現地メンターの管理による確実な成果達成
- 5 国内留学の給与やオンライン学習の費用もサポート

サポート体制

現地メンターと臨床疫学専門家によるサポートで質の高い成果を確実に達成します。



プログラム責任者
(現地メンター)

佐田 憲映

高知県四万十市出身。岡山大学卒業。
岡山大学リウマチ膠原内科チーフとして、長
年大学院生の臨床研究指導にあたる。厚生省
難治性血管炎研究班や多施設共同SLEレジス
トリ構築にも携わる。日本内科学会認定専門
医、日本リウマチ学会専門医・指導医・評議
員、日本臨床疫学会認定上席専門家その他、
腎・透析領域などを専門分野として持つ。



指導協力

福原 俊一 教授

京都大学教授、福島医大副学長、米国で内科
研修、専門医 (MACP)、Harvard大で臨床研究
の修練、京都大学で臨床研究医育成コース
(MCR)を開講。13年間で約200名修了。学外で
「臨床研究デザイン塾」「てらこ屋」などを開講。
書籍「臨床研究の道標」がロングセラーに。

後援

- ・認定NPO法人健康医療評価研究機構
- ・高知医療再生機構
- ・高知大学



松山空港→車で2時間30分
龍馬空港→車で3時間
宿毛駅→車で20分
中村駅→車で20分
(四万十市)

pick up!
幡多ってこんなにいいところ!

高知県の西南に位置する幡多地域。6つの市町村があり、高知県の観光スポットも多く存在する地域です。自然豊かな土地に囲まれた幡多地域で研究に励みませんか？

自然



清流四万十川が流れる四万十市や、透明度の高い海に囲まれた柏島。
釣りやキャンプなど、大自然の中でアクティビティを楽しむ人が増えています。

暮らし



ライフスタイルに合わせて高知の中心部や愛媛にも出かけられる場所に位置しています。また地元ならではのお店から、全国展開しているお店まであるので、安心して暮らせる場所です。



高知県 臨床研究 フェロー シップ



高知県幡多地域で研究者を育て、
医療の新しい形を創り上げる。

「地域医療」×「臨床研究」



高知県幡多地域で3年間、
地域医療に貢献しながら臨床研究を实践。
未来を支える研究者を育成するプログラム。

充実した内容としっかりとした目標、そしてその後。

タイムスケジュール(3年間)

- 1年目前半 クリニカルクエスチョンを検討／
文献検索／リサーチクエスチョンの決定
- 1年目後半 研究計画作成
- 2年目前半 データ収集
- 2年目後半 解析／結果の考察／演題登録
- 3年目前半 学会発表／論文投稿
- 3年目後半 論文修正／採択

フェロシップ修了後のキャリア

- 大学院進学(高知大学・京都大学など)
- 地域に残ってデータベース
整備への参画
- 専門診療科への入局
- 国外・国内留学
- フェロシップメンター
- 一般臨床



診療



平日週4日は幡多けんみん病院等での勤務となります。

勤務先 幡多けんみん病院等(内科)



勤務時間 平日週4日(8:30~17:30)

+
休日夜間(平日2回程度/月、休日2回程度/月)
オンコール当番(3回程度/月)

診療内容 外来(再診1回/週、新患1回/週)

病練(平均5~10名程度担当)

専門診療(希望に応じてリウマチ膠原病・
腎臓・へき地医療などの指導可能)

研究



平日週1日は研究の時間としてプロテクトします。

研究日 平日週1回
研究合宿(長野県1回/3年)

学習資源 ・各種遠隔学習プログラム
・現地メンターの直接指導(週1回)
・高知大学、京都大学、海外の大学の
専門家による指導(対面、オンライン月1回程度)

サポート 大学院進学・遠隔学習受講費用などの
補助あり

概要



募集要項 対象 専門研修を修了した内科系医師
期間 原則3年(4年まで延長可)
募集人数 2~3名/年
募集期限 随時募集中(プログラムは2020年4月から)

給与 ・幡多けんみん病院の給与体系に準じる
・県外への大学院進学のための休職可能、
基本給を支給(6ヵ月)

大学院・学位 高知大学・京都大学・Johns Hopkins大学
などに社会人学生として入学、学位取得可能

お問
い
合
わ
せ

高知大学医学部臨床疫学講座
特任教授 佐田憲映(さだけんえい)

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮 高知大学医学部 総合研究棟4階
TEL/FAX:088-888-2918 Mail:sadak@kochi-u.ac.jp